

## 令和5年度（第55回）ガンカモ類の生息調査の実施結果について（概要）

- 1 調査日 令和6年1月13日～15日（基準日は1月14日）
- 2 調査箇所 県内326か所の渡来地を調査し、249か所で飛来を確認
- 3 調査人員 100人（鳥獣保護巡視員・保護団体関係者・狩猟団体関係者等）
- 4 調査結果概要

### (1) ハクチョウ類

- ① オオハクチョウ4,399羽、コハクチョウ682羽、種不明36羽の合計5,117羽が確認された。
- ② 近年、減少が続いていたオオハクチョウは、昨年度から増加傾向を示しており、今年度も779羽の増加となった。  
一方、コハクチョウは、昨年度の約3分の2に減少した。

### (2) ガン類

- ① コクガン（いわてRDB：Bランク、環境省RDB：絶滅危惧Ⅱ類、国の天然記念物）は、山田湾と洋野町の海岸や河口において、合計84羽確認され、渡来数は10年間の平均（約60羽）よりやや多い結果となった。
- ② マガン（いわてRDB：Cランク、環境省RDB：準絶滅危惧種、国の天然記念物）は、合計4,021羽が確認され、平成28年度の4,389羽に次ぐ過去2番目に多い記録となった。  
そのうち、約7割にあたる2,780羽が、永井鹿沼（一関市）で確認された。
- ③ ヒシクイ（いわてRDB：Bランク、環境省RDB：絶滅危惧Ⅱ類）は、盛岡市と矢巾町の境界周辺で6羽確認された。  
また、ハクガン（環境省RDB：絶滅危惧ⅠA類）についても、同調査地点において13羽確認された。  
岩手県内においてハクガンが確認されたのは、昭和44年度の調査開始以降、今回が初めてであった。

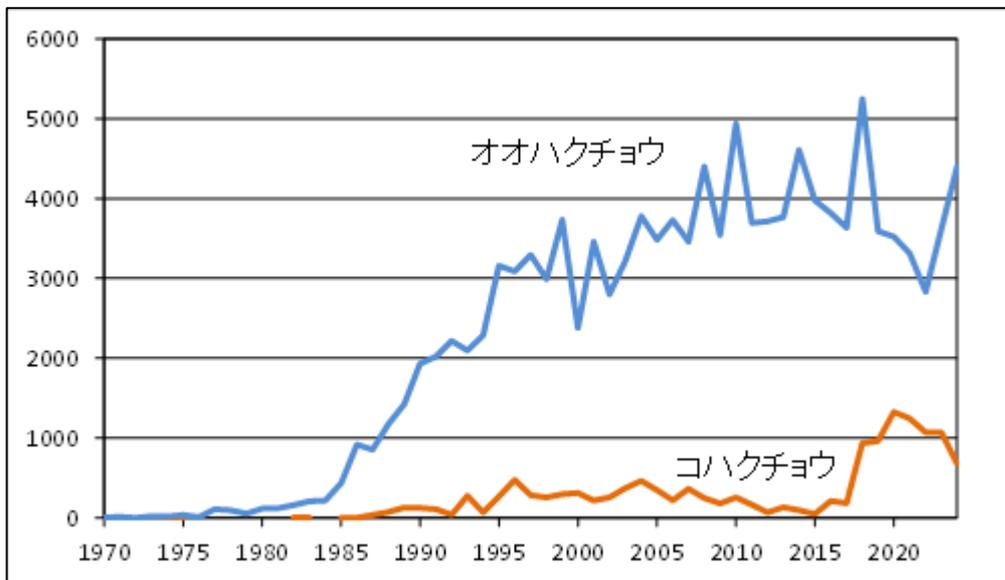
### (3) カモ類

- ① 令和2、3年度には渡来数の大幅な低下があったが、今年度は合計23,646羽と、昨年度と同程度で平年並みの渡来数となった。
- ② 合計1,000羽を超えるカモ類が確認された調査地点は、御所湖（雫石町）、北上川都南中央橋～徳田橋（盛岡市）、猿ヶ石川～落合橋（花巻市）、の3か所だった。
- ③ 昨年度渡来数の多かったオナガガモが半減した一方、オカヨシガモは19羽から286羽に、ホシハジロは176羽から734羽に、それぞれ大幅な増加を記録した。
- ④ カモ類の希少種では、トモエガモ（いわてRDB：Bランク、環境省RDB：絶滅危惧Ⅱ類）が、御所湖（雫石町）で4羽確認された。

5 過去10年間の個体数（単位：羽）

区分 年度	ハクチョウ類	ガン類	カモ類							合計
			オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	オナガガモ	その他	計	
26	4,327	505	78	3,871	6,084	2,220	2,307	6,324	20,884	25,716
27	4,033	3,122	40	6,461	7,094	2,375	6,995	5,056	28,021	35,176
28	3,850	4,447	69	5,780	7,070	3,141	2,562	4,344	22,966	31,263
29	6,219	179	21	5,259	7,003	2,344	2,330	4,377	21,334	27,732
30	4,610	2,392	5	5,435	7,469	1,923	2,843	4,590	22,265	29,267
1	4,851	1,404	99	8,298	7,383	2,207	3,219	5,222	26,428	32,683
2	4,569	3,742	12	3,885	4,573	961	1,230	5,222	13,676	21,987
3	3,892	3,106	6	3,066	3,916	831	997	2,349	11,165	18,163
4	4,694	3,731	14	7,661	6,196	1,802	5,528	2,826	24,000	32,425
5	5,117	4,124	20	8,791	6,780	2,075	2,537	3,443	23,646	32,887

6 岩手県内におけるオオハクチョウとコハクチョウの個体数の経年変化



7 岩手県内におけるカモ類の合計個体数の経年変化

